

<第 80 回 キャンパス・サミット資料>

平成 24 年 2 月 28 日

社会環境学部「ビオトープ」及び「福工大前商店会活性化プロジェクト」報告

坂井宏光

1. **ビオトープ活動**～ 福工大構内の里山・ビオトープは平成 18 年 3 月に産声を上げてから、6 年が経過しようとしています。その間、地域の皆様と学生達が可能な限り自然状態を維持・保全し、自然観察会などで交流し、大いなる自然の営みや恵みを楽しみながら、次の世代に受け継いできました。

平成 23 年度のビオトープ活動は 4 月 29 日(金) 第 20 回で春、7 月 2 日(土) 第 21 回で夏、10 月 15 日(土) 第 22 回で秋、12 月 3 日(土) 第 23 回で冬と里山・ビオトープ自然観察会を 4 回開催しました。地域の皆様と学生達が延べ 166 人(前年比+67 人)の参加をいただきました。また、和白東校区の夏祭りにも参加しました。6 年間の累積で 516 人になります。さらに、ビオトープ活動の一環で、近隣の小学校でも環境紙芝居などを行って、交流を進めました。このようなビオトープ活動を活かし、学生達はビオトープ管理士資格試験にも 3 名が合格しました。12 月に日本生態系協会主催の全国学校・園庭ビオトープコンクール 2011 で本学のビオトープ活動は地域とのネットワークやパートナーシップ(連携)が特に優れていることが評価され、上位 5 賞の一つ「日本生態系協会会長賞」に選定されました。そして、2 月 12 日に津田塾大学の津田ホール(東京)で、秋篠宮同妃両殿下のご臨席のもとにその発表会と表彰式が開催されました。(キャンパスメール参照)

今後は全国のビオトープ活動の模範となるような地域の活動拠点としていきたいと思えます。また、地域住民の皆様と、福工大構内の貴重な里山・ビオトープでの自然観察会などを通じて、地域環境保全や地域の豊かな環境創生に微力ながら貢献できるように、継続的に活動を行っていきたく考えています。

2. **福工大前商店会活性化プロジェクト**～ ゼミ活動の一環として、平成 21 年 10 月から福工大前商店会の活性化プロジェクトに取り組んでいます。福工大前駅の駅長さんのご厚意により、改札を入れて小倉駅方面ホームに降りる手前の壁面に「商店会の加盟店を紹介するポスター」を掲示しています。現在、第 23 回「蒲池 酒店」を掲示中で、来月以降は第 24 回「Tocono Bar」(カクテルバー)、第 25 回「居酒屋 力」(2 回目)を順次、掲示する予定です。

学生達がまとめた商店会活性化の課題は、①商店会の魅力、②核となる店舗、③商店会の連携(絆)、④旧エコステーションのような地域交流拠点と運営費確保、⑤道路上の安心・安全確保などが挙げられていました。今後、店舗紹介のポスター製作・掲示のみならず、Web サイト等の活用を検討していきたい。また、IKEA が進出してくるなど周辺環境が急激に変化しているが、様々な課題を克服するために、地域連携に微力ながら取り組んでいきたいと思えます。